

- 昨年は、コロナは既にある構造変化を加速させるものと位置づけ、①「グリーン」、②「デジタル」、③「レジリエンス」といった大枠の方向性を提示。
 - 現在もコロナの影響は甚大。ワクチンを含め、対応はグローバルに長期化。健康と経済が両立困難な状態が継続。
 - コロナ禍で国民が求めているのは、単なる豊かさの確保だけではない、多様な「価値」の同時実現ではないか。（＝経済活動の再開、伝統的な経済産業政策のターゲットだけにとどまらない意味を持つ投資が必要。）
- ➡ 豊かな生活、環境の保全、安全の確保、雇用の安定、格差の改善、公平な教育、持続可能な地域、健康な生活（Well-being）・・・といった社会政策などの経済政策以外の課題とも関連する価値。
- 各国では、財政政策も用いつつ、需給両面に訴求し、社会・経済課題解決を図る潮流。そうした国家間競争の中では、日本も、過去を省み、ワズスペンディングを前提としつつも、失敗を恐れずに、官民がともに垣根を越えて、「経済」×「〇〇」に責任を持って挑戦・実現することが必要ではないか（＝経済産業政策の「新機軸」）。

「経済」×「環境」の好循環 ～グリーン成長戦略～

2050CNを宣言し、「グリーン成長戦略」を策定。政策の総動員、民間の投資拡大といった機運醸成。

⇒ 大きな“うねり”創出。動かし切る。

- ✓ **エネルギー基本計画**
成長戦略と表裏一体となるエネルギー基本計画の提示と実現。（3E+S）
- ✓ **エネルギーインフラ整備**
厳しい制約下で次世代NWや再エネ・原子力などインフラの構築・維持・運営を担保し、脱炭素化と安定供給を両立。
- ✓ **電池**
成長する車載用・定置用を含め、CN時代の「IC」-基盤となる電池のサプライチェーンを国内に確保、市場を獲得。
- ✓ **洋上風力**
長期導入目標や系統等のインフラ整備による市場創出。サプライチェーン形成促進や、浮体等の次世代技術開発。
- ✓ **水素**
供給コスト低減、需要量拡大に資するR&Dや規制改革、制度整備等。
- ✓ **成長に資するカーボンプライシング**
炭素削減価値取引の活性化策や国境調整措置について、具体的設計を検討。

「経済」×「安保」の同時実現 ～経済安全保障／レジリエンス～

サプライチェーン強靱化等の取組が進展するも、大国間の技術覇権争い等を背景に更なる経済安保への対応が急務。

⇒ 諸外国に伍する“うねり”に育て上げ、動かし切る。

- ✓ **重要技術・産業・インフラを「知る」・「守る」・「育てる」政策**
「知る」:重要技術・産業・インフラ（半導体・電池・AI・量子等）に係るチョークポイント特定。
「守る」:輸出・投資・アカデミアにおける技術の管理強化、サイバーセキュリティ確保等
「育てる」:重要技術と産業基盤を育てる、主要国に伍する政策の実行。
- ✓ **半導体**
製造技術の開発や製造工場の国内誘致。サプライチェーンを意識した素材・製造設備等のチョークポイント技術開発や、需要創出になるDX推進。
- ✓ **データセンター**
災害・サイバー攻撃の脅威に備える計画的整備。分散立地支援。地方での遠隔医療・教育、自動走行実現。
- ✓ **バイオ**
ワクチンナショナリズムへの対処。水平分業化の推進や国内生産力の強化、新分野のバイオ創薬開発。

「経済」×「分配」=包摂的成長 ～「人」への投資・「地域」の持続発展～

新型コロナの影響を踏まえつつ、適正な分配により、誰一人取り残さず、イノベーションを創出する「人」・「地域」を実現。

⇒ 新たな“うねり”を作り出し、動かし始める。

- ✓ **雇用・産業転換**
グリーンやデジタルにより失われる雇用・産業の転換。転換を主導する経営者・ベンチャー支援。非正規に効く人材政策。
- ✓ **業種・地域格差是正**
医療・介護・教育・飲食・宿泊等サービス業のDXやマークアップ率向上。受け皿となる地域・中小企業活性化。
- ✓ **人づくり、女性・高齢者の活躍**
オンライン教育等も通じた学び直し、幼児教育・保育の無償化、保育・介護支援等。
- ✓ **課題解決産業の海外展開**
少子高齢化の中、高齢者も含めた多様な健康（Well-being）を実現し、課題解決先進国として海外展開。過疎地域を活性化する社会インフラ（IoT・自動走行）の整備・利用。地域の課題解決や文化を活かす産業を担う中小・スタートアップの支援。

「デジタル」前提の経済・社会運営 ～新たな行政・アーキテクチャのあり方～

デジタル庁設立によりデジタル社会形成に向けた基盤が整備。⇒ 起こりつつある“うねり”を育て上げ、動かし始める。

- ✓ **デジタル庁との連携**：時代遅れな経済・社会システムをデジタル基盤を前提に描き直し（＝アーキテクチャの再設計）、必要な制度、システムやデータの整備・利活用のあり方を一体的に見直す。ドローン、データ入札、オンライン教育、決済・税務、保安など。
- ✓ **デジタル人材育成**：地域や民間企業等とともに、教育コンテンツや課題解決の実践場を提供する育成プラットフォームを構築。
- ✓ **行政手法の変革**：官民のデータを用いたEBPMや社会的価値起点の人材・企業への「この指止まれ方式」の支援。

内外一体の対外経済政策 ～信頼あるバリューチェーンの構築にむけた戦略競争への対応～

「大きな政府」志向・人権等「価値」への関心の高まり等の地殻変動。

- ✓ **信頼あるバリューチェーンの確立**：信頼の判断軸となるルール形成、新興国との課題解決や環境等価値の共創に向けた官民連携。
- ✓ **自由貿易のアップグレード**：WTOルル・EPA等での公平な競争条件を確保する規範づくり、持続可能性・公正性のビルトイン。

➡ 上記をはじめ、新たな付加価値を、中長期的に獲得し続けられる産業構造の構築が必要ではないか。